

不撓不屈

普天間中学校だより
第6号
令和3年10月8日

教育目標

平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何事にも挑戦し、自己実現に向かう生徒の育成

凡事徹底の本当の意味は!!

「目標」は、高くしすぎない

朝夕の涼しさに秋を感じる季節を迎えました。スーパールの青果コーナーには、栗や柿、梨、葡萄等季節の果物が満載です。皆様お元気ですか？

2学期が始まって1ヶ月。10月1日(金)に緊急事態宣言が解除され、駅伝練習や部活動等も再開し、普中に活気が戻ってきました。また、学級では、来る10月28日



に開催される「音楽発表会」に向け、本格的な合唱練習に入っています。校内のあちらこちらで素敵な歌声が響き、心地よい時間が流れています。

さて、今回は、学校教育目標にもある「平凡を非凡に努める」(「凡事徹底」)の本当の意味について一緒に考えてみたいと思います。「凡事徹底」とは、当たり前のことを当たり前にやるということではなく、「人が真似できないほど徹底的にやる」ということです。それにまつわるエピソードを一つ紹介します。日米のプロ野球で活躍したイチロー氏(2021年の米国内リーグでMVPを獲得、あの大谷翔平選手も尊敬する偉大な人物)に、「これだけはやったと思う練習は？」と聞くと、「僕は高校生活の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが

誰よりもやっていた練習です。」と答えました。このように、わずか10分の練習ならだれでもできそうなことですが、それを3年間毎日欠かさず行うことは誰にでもできることではないと思います。勉強や部活動、社会に出れば仕事などにおいて、何かを成し遂げるには、このような**凡事徹底**が時として、重要になると思います。



また、イチロー氏は、「何かを成し遂げる」の何かに当たる「**目標は、高くしすぎない**」ことも重要だと言っています。頑張れば手が届くところに目標を設定すれば、あきらめずにいられるそうです。イチロー氏のように手が届きそうな目標を設定し、クリアできれば、

また次の目標を設定していくことで、最終的に大きな目標を達成するための手段になると思います。日常生活や勉強などでも使えるのではないのでしょうか。皆さんも**平凡を非凡に努める**「凡事徹底」に挑戦してみませんか？

一人1台の時代



文部科学省のGIGAスクール構想の実現に、生徒一人1台の学習用パソコン(ICT端末)が配備されました。普天間中学校では、各学年、総合の時間にGIGA開きを行い、一人一人与えられたアカウントを使ってログインすることから始めています。「たったこれだけ？」と思われる保護者の方もいらっしゃるかと思いますが、学年(学校)全体で一斉に授業で使うとなると、「ログイン」という小さな局面ですら、うまくいきません。まず実際に試してみても、起こったトラブルなどの修正を繰り返し、試行錯誤しながら少しずつ完璧に近づけていく。とくに準備された解答のない時代には「修正主義」の考え方が大切になると思います。まだ取り組み始めたばかりで万全とはいきませんが、毎日の健康観察や教科・学活・道徳の授業

家庭学習強化月間

9月は、家庭学習強化月間でした。今年度も家庭学習の奨励と激励を兼ねて、頑張りノート5冊終了者に賞状と副賞の授与を行います。9月8日(水)に開催された第1回大抽選会では、15名の生徒がゲームに挑戦し、当たった景品に一喜一憂していました。



【写真】赤い的(1等賞)をねらって投げる様子